



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3F
Tel 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail : koe@siminnokai.com



平和ネットが第4回総会

2月19日(火)、18時からムーブ大セミナー室で、「平和をあきらめない北九州ネット第4回総会」が開かれました。参加者60人。市民運動をしている6団体から、それぞれ生き生きした活動報告がありました。①さよなら原発! 13.10北九州集会、②辺野古土砂搬出反対北九州連絡会からの現状報告、③築城基地の機知拡張反対運動、④平和資料館建設市民要望運動、⑤北九州での労働・雇用実態の深刻さ、⑥消費税増税反対の中小業者運動。



第4回総会議案は池上弁護士から報告。2018年活動経過、2019年運動方針を確認しました。

生活保護削減のための物価偽装をたす!

2月23日(土)、2019年「原告を励ます新春のつどい」が開かれた。主催は「いかんよ貧困福岡の会」と「北九州社保協」。第1部は白井康彦氏(元中日新聞生活部編集委員)が講演。「生活保護削減のための物価偽装をたす」と題して、生活保護費を引き下げのために、厚労省は、統計偽装により実際よりも物価がさがったようにみせかける操作をした。講演では、そのカラクリがみごとに解明された。あまりにも稚拙な偽装操作



を知り腹が立った。怒りを運動にしていかなければならない。第2部は、「原告を励ます新春のつどい」。うたごえあり、手品あり、福引あり。昼食をとりながら歓談。生活保護引き下げ違憲訴訟・年金引き下げ違憲訴訟に勝利しよう!

渡辺治憲法講演DVDを見る会

2月23日(土)、渡辺治憲法講演DVDを見る会を開催した。主催は9条の会・北九州憲法ネット。参加者は10名ほどで少なかったですが、全員が引き込まれるように126分のDVDを観賞しました。安倍9条改憲の危険性と発議阻止に向けた闘いの大切さを痛感した。



辺野古埋め立て反対7割超 県民投票43万票余 全市町村で多数に デニー知事「日米首脳に通知」

24日投開票された名護市辺野古米軍新基地建設の埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票で圧倒的多数の「反対」が示されたことを受け、玉城デニー知事は25日未明、県庁で記者会見を開き、投票結果を速やかに日米首脳に通知すると表明しました。反対は43万4273票(投票総数の71.7%)で、昨年9月の知事選で新基地反対を掲げてデニー知事が獲得した39万6632票を大きく上回りました。全市町村で反対が多数となりました。

埋め立てに「賛成」は11万4933票(同19%)、「どちらでもない」は5万2682票(8.7%)でした。投票総数は60万5385票、投票率は52.48%でした。3択の中で最多となった「反対」の票数は、投票資格者(有権者)総数115万3591人の4分の1(約29万)をはるかに超えました。そのため、

「反対」「賛成」「どちらでもない」の比率



県民投票条例の規定に基づき、デニー知事は「投票結果を尊重し、速やかに内閣総理大臣及びアメリカ合衆国大統領に通知する」と述べました。デニー知事は「辺野古埋め立てに絞った県民の民意が明確に示されたのは初めてであり、極めて重要な意義がある」と強調。辺野古新基地建設の工事を中止し、米軍普天間基地(同県宜野湾市)の一日も早い閉鎖・返還の問題も含めた県との対話に応じるよう、日本政府に「強く求めていく」と表明しました。デニー知事は、投票結果を安倍晋三首相に伝えるための上京は早くも3月1日との意向を示し、訪米についても「考えていきたい」と語りました。(しんぶん赤旗より)

第36回 八幡市民会館の活用を求める連絡会

2月25日(月)、連絡会は重要な活動の方向性について熱心に話し合い、二つの方向性を確認しました。



一つの方向性は、八幡市民会館を埋蔵文化センターに用途変更するための調査費として800万円補正予算で計上している現状に鑑み、連絡会として広範な市民を巻き込んだ公開質問状を市当局に突きつけ、見解(回答)を広く市民に知らせ、連絡会として八幡市民会館の活用に関する見解を総括していく。

公開質問状は、次の3点を柱とする。

- ①埋蔵文化センターへの用途変更に関するいくつかの疑問
- ②公共施設マネジメント実行計画の施行規則制定の必要性
- ③移転した八幡図書館の問題点

二つ目の方向性は、連絡会よりも幅広い市民・区民に呼びかけた新しい団体の結成を目指す。「八幡東区街づくりの会」「八幡駅前大通りの会」とか、長期的な市民運動課題として検討していく。二つの方向性の具体的検討を次回連絡会で行う。

次回連絡会 3月25日(月) 13:30 大谷市民センター

北九州春闘共闘連絡会が地域総行動

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、2月28日(木)、2019年春闘要求前進をめざす地域総行動を取り組みました。総行動は、早朝宣伝からはじまり、意思統一集会、北九州市要請、北九州市教育委員会要請、市議会要請、北九州商工会議所要請をし、



早朝7時から15時過ぎまで取り組みました。早朝宣伝に23人、要請行動に25人が参加し整然と成功させることができました。(堀田和夫氏 FBより)

北九州各区で国際女性デー



3月8日は国際女性デー
女性の生き方を考える日

国際女性デーとは、1904年3月8日にアメリカのニューヨークで女性労働者たちが婦人参政権を求めてデモをしたことが始まりです。日本では1923年3月8日、最初の集会が開かれ今日まで続いています。1975年に国連で認証され、「女性への差別撤廃と女性の地位向上を訴え、女性の政治的解放をめざす統一行動日」となりました。今では、世界で3月8日は国際女性デーとされ、女性の自由と平等を掲げる日として祝われています。この日イタリアでは、男性から女性にミモザを贈る文化があるのです。(堀田和夫さん FBより)

福岡県革新懇世話人会が開かれました

3月2日(土)、県革新懇世話人会が開かれました。冒頭、篠田清県知事候補者から力強い決意表明がありました。主な議題は、



- 統一地方選挙・参議院選挙をめぐる情勢と革新懇の役割について
- 地域革新懇の再建・結成に向けた協力の呼びかけと革新懇ニュースの拡大について
- 会計報告

地域革新懇の再建・結成に向けた協力の呼びかけについては、竹下会長が各地域革新懇事務局に出かけ直接再建を訴える報告がなされ、地域革新懇の再建・結成が精力的に前進しようとしていることに確信を持ちました。当面する統一地方選挙・参議院選挙に革新懇として全力で取り組むことを誓い合いました。

戦争展、第1回実行委員会

3月6日(水)、「第25回平和のための戦争展 in 北九州」の第1回実行委員会が開かれました。9名参加。最初、うたごえの山本さん指導で、メーデー歌集から2曲歌い、討議に入りました。決定事項は以下の通り。役員は、三輪実行委員長、西事務局長はじめほぼ昨年通りのメンバー。



日程 8月17日(土)、18日(日)
黒崎コムシティ。

記念講演は第1候補と第2候補を決め調整します。

春闘共闘連絡会が九電に要望書

3月7日(木)、春闘共闘連絡会が九電に対する要請書を手渡しました。組合側の出席は8人でした。2019年春闘要求前進をめざす一日総行動の一環として、3月7日13時30分から九州電力に、「リスクの多い原子力発電から撤退し、再生可能エネルギーによる発電に転換することを求める要請書」を提出し懇談を行ないました。九電側からは企画総務部広報グループが対応。組合からの質問は、①原発稼働によって出る1年間の放射性廃棄物の量と種類、その処置は?②使用済み核燃料の乾式貯蔵とは、③玄海1号機、玄海2号機の廃炉費用について、その見込み額と引き当てがすすんでいるのはいくらか、④大型蓄電器の開発はどこまで進んでいるかの4点。九電からは、結構細かく分かりやすい回答・説明がありました。(堀田和夫氏 FB より)



57名が退職、市職労が退職者を励ます会

3月8日(金)18時15分、リーガーロイヤルホテルで、北九市職労退職者を励ますつどいが開かれた。重野市職労委員長と大山学嘱労委員長から退職される組合員に感謝状が贈られ、池田正人さんが退職者57名を代表して思いのこもった挨拶をされた。今年もだしもので大いに沸きました。一般評、女性部、水道評、調理員部会、国保部会、保育所部会からの出し物で、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。「がんばろう」を大合唱。たくさんの笑いと涙に溢れました。



「さよなら原発! 3.10北九州集会」

暴風雨警報の流れる3月10日の北九州市勝山公園にて、予定通り、「さよなら原発! 3.10北九州集会」が開催されました。10日雨模様という予報は1週間前から変わらず、2、3日前から問い合わせの電話が殺到していました。誰も来ないんじゃないかと心配されましたが、今年で8回目となる「3.11さよなら原発集会」。集会開始時間が近づくにつれ少しずつ集まりだしました。オープ



ニングのうたごえが聞こえ出すころには200人ぐらいの人だけだが、何とかかなかなと思っていましたが、マコ・ケンさんのトークが始まるころには、300人、400人と増え始め、本集会が始まるころには600人を超えていました。



こんな雨の中、よく集まってくれました。北九州市民の脱原発への思いの強さを改めて実感させられた瞬間でした。今年の集会のテーマは、「原発のない未来は そう遠くない」という、希望にあふれるタイトルです。

まさに、そうした情報が、いまいろんなところから聞こえてきます。3月11日のBS-TBSでは、19:30~21:00の枠で「報道1930 再生エネ後進国ニッポンの未来は・・・再生エネなしの企業が門前払いも・・・」という特集番組が放送されました。まさに、今年の集会のテーマがそのまま番組として放送されていました。さすが、TBSというところでしょうか。

集会は雨模様の中、多少省略しながらも、ほぼ予定通り行うことだ出来ました。

デモ・パレードをどうするかギリギリまで迷いましたが、ほとんど雨脚が衰えず、傘をさしての行進で予期せぬ事故も考えられますので、「中止」を判断しました。

残念がる人も結構いましたが、最後は「原発いらない」の大合唱で心を一つにして、解散しました。

次は、「さよなら原発金曜行動 350回記念行動」が6月に待っています。今回は、合羽を着て頑張っている私の写真をトップに持ってきました。大目に見てください。(深江さんメール投稿より)

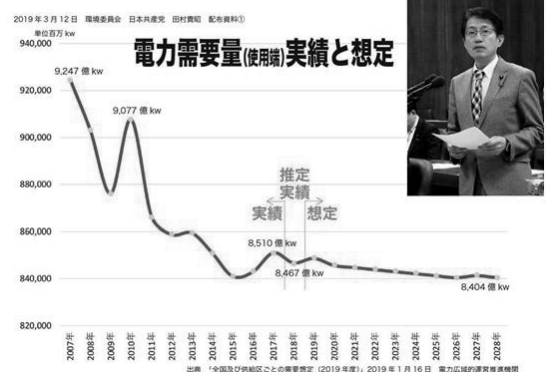
消費税10%アップはするな!

3・13重税反対全国統一行動に呼応して、小倉地区実行委員会は、3月11日、ムーブ2階大ホールで消費税増税反対の集会を開きました。消費税10%アップはするな!生活費に税金をかけるな、納税者の権利を守れ、憲法改悪反対!を訴え小倉税務署までデモ行進、集団申請を成功させました。



田村議員、鋭く国会で追及

エネルギーで一番CO2を排出する石炭火力発電。撤廃が世界の流れです。日本においても、コスト高で石炭火力は建設中止が相次ぎ、ビジネスとしてもなりたたなくなっています。国内の電気需要は減少し(グラフ)、もう必要性はない、新規増設を認めるなど今日の環境委員会で大臣に迫りました。「パリ協定目標の実現に向け、大胆かつ着実に対策を推進します」「厳しく対応してまいります」と所信を表明したのに、増設は認めないと言わない大臣。世界から遅れをとるばかりです。所信はハッキリですか?電力会社への気遣いですか?まだまだ追及が必要です。(田村貴昭氏 FB より)



2019 4月 April 今後の予定

戦争展第2回実行委員会 日時: 4月2日(火) 18:30 場所: 生涯学習総合センター	341回さよなら原発金曜行動 日時: 4月12日(金) 18:00 場所: 小倉駅デッキ
市民の会事務局会議 日時: 4月3日(水) 10:00 場所: 市民の会事務所	市民の会事務局会議 日時: 4月17日(水) 10:00 場所: 市民の会事務所
340回さよなら原発金曜行動 日時: 4月5日(金) 18:00 場所: 小倉駅デッキ	平和をあきらめない北九州ネット19日定例行動 日時: 4月19日(金) 18:30 場所: 小倉駅デッキ
北九州憲法ネット事務局会議 日時: 4月9日(火) 12:00 場所: 小倉東法律事務所	342回さよなら原発金曜行動 日時: 4月19日(金) 17:30 場所: 小倉駅デッキ
平和ネット安倍改憲NO! 3000万署名実行委員会 日時: 4月12日(金) 18:00 場所: 生涯学習総合センター	地域経済研究会 日時: 4月24日(水) 14:00 場所: 県自治研
	343回さよなら原発金曜行動 日時: 4月26日(金) 18:00 場所: 小倉駅デッキ